

A Letter from the Career Guidance Office No19 May26

今日は、今年の私立大学推薦入試の動向を紹介します。

私立大学入学者の半数以上が推薦 AO 入試で入学

入試種類別の入学者占有率 AO11.4% 推薦 41.0% 一般 47.3%

志願者数前年並み(昨年難化の反動)

合格者 11%増加 (昨年の合格者数絞込の反動)

京阪神地区では倍率ダウン 4.8→4.1 倍

(全国の平均倍率はここ3年で 1.7 倍→1.8 倍→1.9 倍へアップ)

大阪工業大 3.6→4.0 倍 神戸学院大 3.9→4.3 倍

大阪経済大 9.0→5.8 倍 龍谷大 6.1→5.4 倍

近畿大 8.8→5.1 倍

推薦でも理系人気復活

今や私立大学の入学者の半数以上が、推薦・AO入試で入学する時代となりました。今年は「現役志向」入試で、推薦入試に志願者が集中されることが予測されましたが、前年の志願倍率があまりにも高すぎたため受験生が敬遠。意外に広き門の入試となりました。近畿大学では、昨年に比べ志願者が26%減、一方で合格者が28%増加したため、大幅に易化しました。次に入試科目と倍率の具体例です。

京都産業大総合評価型推薦入試

経済 3.5 倍 情報理工 4.0 倍 外国語 4.1 倍

英語 100 点+国語 or 数学 100 点+調査書 100 点

龍谷大スタンダード方式推薦入試 (姫路会場でも受験可)

経済 8.4 倍 法 7.2 倍 先端理工 2.6 倍

英語 100 点+国語 (理系は数学) 100 点+調査書 50 点

これまでは学力試験のない推薦入試も多くありましたが、近年、推薦入試でも学力試験重視 (特に近畿地区) の傾向がみられます。推薦だからと言って、一般入試より入りやすいわけではなく、一般入試と同レベルの学力が必要です。次に今年の本校の主な推薦入試の合格状況です。

龍谷大	5 名	京都産業大	2 名	大阪産業大	16 名
甲南女子大	3 名	神戸学院大	6 名	関西外大	4 名

近畿大 16名	神戸女子大 13名	関西福祉大 3名
神戸学院大 8名	川崎医療福祉大 1名	岡山理科大 3名
(指定校推薦をのぞく)		

